

# 高浜原発4号機再稼働

## 関電、電気料金値下げへ

関西電力は17日午後5時、高浜原発4号機(福井県、出力87万キロワット)を再稼働した。関電の原発が動くのは、司法判断で高浜3号機の運転が止まった2016年3月以来、約1年2カ月ぶり。東京電力福島第一原発事故後の新規制基準

下で運転する原発は、九州電力川内1、2号機(鹿児島県)、四国電力伊方3号機(愛媛県)と合わせて計4基となる。▼3面||収益優先、30面||声上げた地元  
高浜4号機は16年2月に稼働したが、3日後に作業中のトラブルで緊急停止。

その後は大津地裁が3、4号機の運転差し止めの仮処分決定を出したため、動かせなかった。今年3月、大阪高裁が仮処分を取り消し、関電は4号機から再稼働した。22日に発電と送電を始め、6月中旬にも営業運転に入る。

関電は高浜3号機も6月上旬に再稼働し、7月上旬には営業運転に入る予定。その後、電気料金を値下げする。昨年4月から電気を買う会社を自由に選べるようになったことで、関電は大阪ガスなど新電力に顧客を奪われており、値下げで反転攻勢に出る。  
今後とも原発の再稼働は相次ぐ見通し。九電は夏にも玄海3、4号機(佐賀県)を、関電は10月にも大飯3、4号機(福井県)を再稼働させる方針だ。(金井哲也)

# 働稼再ぬらまら止優先優益収

## 客離れの関電 値下げ頼み

関西電力は17日、高浜原発4号機を再稼働した。関電にとっては、2度も値上げした料金を下げ、離れた利用者を取り戻すための「切り札」だ。だが、事故が起きたときの避難体制など、備えには危うさが残る。使用済み核燃料の後始末も出口が見えないままだ。

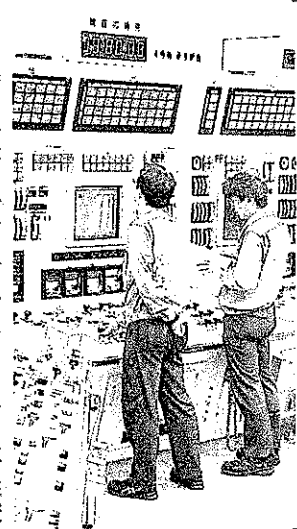
▼1面参照

17日午後5時。運転員が核燃料の間に差し込んで核分裂反応を抑える「制御棒」を引き抜くと、1年数カ月を経て原子炉が動き出した。「うっやう、という胸をなで下ろした。

電所の燃料が要らず、その分もかかるからだ。関電の電気料金は、他の大手電力会社と比べて高い水準だ。もともと発電量に占める原発の割合が約5割と高かった。東日本大震災後に原発が動かさない状態が続くと、火力発電の燃料費のしかり、震災後2度、電気料金を上げた。

2011年3月の東京電力福島第一原発事故後、夏の電力不足が深刻になったが、今は原発なしでも電気は足りる。それでも大手電力会社が再稼働を進めるのは、代わりに使う火力発電自由化だ。関西では大阪ガスなど新規参入業者が関

電より安い料金メニューを出し、関電は「草刈り場」になった。関電管内では今年4月までに、全体の約8%の78万世帯の契約が新電力会社に移った。企業でも「関電離れ」が進んだ。関電の17年3月期の販売電力量は初めて中部電力



高浜原発4号機の中央制御室で原子炉を起動する運転員ら。福井県高浜町、代表撮影

「反転攻勢のためには再稼働し、電気料金の値下げが必要だ」。関電の岩根茂樹社長はそう繰り返してきた。原発再稼働で減る火力燃料費は高浜3、4号機で年間840億円と見込む。

### 避難は？残る不安

	3号機	4号機
5月17日		再稼働
6月上旬	再稼働	営業運転入り
中旬		
7月上旬		営業運転入り
夏?		

00億円もの費用がかかるが、「十分、経済合理性がある」と岩根社長は言う。原発再稼働が経営の好転につながるのには、関電だけでは足りない。東電は今年30年間、原発事故の廃炉費用や損害賠償を支払い続ける必要がある。柏崎刈羽原発の再稼働が不可欠だとしている。今秋以降、九州電力は玄海3、4号機(佐賀県)、関電も大飯3、4号機(福井県)と、原発再稼働の流れは加速する見通しだ。(伊藤弘毅)

に原発から8〜10km圏だった災害対策重点区域を30km圏に拡大。高浜原発の場合、対象住民は福井、京都両府県で計約18万人にのぼる。昨年8月の訓練には住民約71800人が参加。うち約11200人が避難方法を確かめる算段だった。ところが、ヘリ4機、船3隻を使う予定が、悪天候で動いたのはヘリ2機のみ。急きよパスで振り替え輸送した。

原発の地元住民には、再稼働に不安がつきまとう。高浜原発がある福井県。司法判断で原発が止まっていた間、万に備え、内閣

府や京都府などと過酷事故を想定した広域避難訓練をした。だが、訓練は円滑に進まなかった。国は東日本大震災を教訓

### 使用済み燃料プール迫る限界

## 高浜4号機すでに8割

各電力会社からこれまでに、新規制基準に基づく再稼働の申請があったのは16

が、使用済み核燃料だ。高浜4号機は、保管するプールの貯蔵割合がすでに80.2%(4月末時点)に達している。関電の高浜、大飯、美浜の各原発の平均でも70%近い。関電による

になる。一方、プールから取り出した使用済み核燃料を一時的に保管する「中間貯蔵施設」の場所は決まっていない。使用済み核燃料からブルトニウムを取り出して利用する「核燃料サイクル政策」の見直しも立っていない。

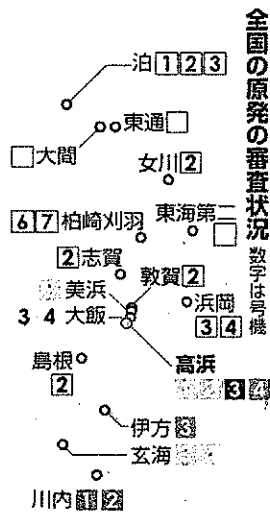
針が新基準に適合すると許可している。原発が動くが増えるの

再稼働(停止中)

高浜	3号機
高浜	1,2号機
美浜	3号機
玄海	3,4号機
安全対策を大筋了承	3,4号機
大飯	3,4号機
地震想定を了承	3,4号機
柏崎刈羽	6,7号機
東海第二	1~3号機

審査の序盤~中盤

女川	2号機
浜岡	3,4号機
島根	2号機
志賀	2号機
東大飯	(建設中) 2号機
敦賀	2号機

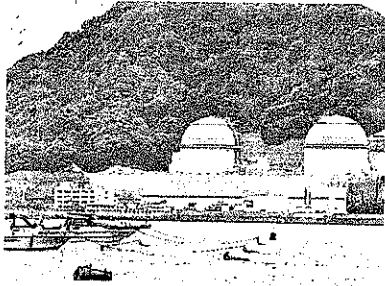


全国の原発の審査状況 数字は号機

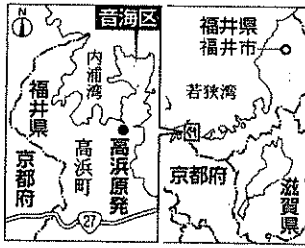
# 反原発 思ってなかったのに

5/18 朝刊

## 高浜原発再稼働「地元中の地元」募る不安



音海地区から見える高浜原発  
3、4号機＝福井県高浜町



高浜原発の北側に突き出た半島の先に67世帯1383人(4月末現在)が暮らす高浜町音海地区がある。中心部から原発までは約2km。

### 原発まで2km

司法判断で止まっていた福井県高浜町の関西電力高浜原発4号機が17日夕に動き出した。原発正門前に駆けつけて抗議する人たち。その間近に、いつもと変わらない日常を送りながら声を上げ始めた地元の人たちがいた。

原発で働く住民もおり、40年あまりにわたって共存してきた「地元中の地元」だ。

「みんなが集まってこないことを話してるんか」と思って近づくと原発の話をしてる。前は違った。かつて原発内で働いたことのあるという集落で出合った80代の女性はそう漏らすと、路肩のはき掃除に戻っていった。

傍らには「高浜原発 運転延長反対 音海地区」と書かれた看板が立っていた。書きかけは昨年6月に原子

### 高浜原発

4基で計339.2万kwの出力を有する。関西電力約500人と、定期検査協会の約2500人(運転中約1500人)の電力会社の従業員が働く。1974年の1号機から順次運転を始めた。再稼働した4号機には、一部にウランとプルトニウムの混合酸化物(MOX)燃料が搬入されている。

「我々はもうどうでもいい」ということなのか、と。行動を起こす最初で最後のチャンスやと思っただけです。自治会代表で旅館を営む児玉巧さん(69)は話す。かつて町議として、地域振興をめぐって共存のための議論を関電としてきた。「自分」のことを反原発だなんて言ったこともあったことなかった」と振り返る。

高浜原発は1974年に運転を開始。「最初は本当に安全なのかと思っていたが、大きな事故がなかったことで安全なんだと錯覚していた」。だが2011年、東京電力福島第一原発事故が発生。「口には出さないが、誰もが自分の身に置き換えて考えたと思う」。国民に協力してきたが、この半世紀で区の人口は半減した。昨年12月の区集会以緊急動議を出した。古い原発が延命されれば、ますます人が寄りつかず、衰退が加速する。懸念を盛り込んだ運転延長に反対する意見書を区で出すこと



再稼働反対を訴え、高浜原発へデモ行進する人たち＝17日午後、福井県高浜町、矢木隆晴撮影

「今すぐ止める」「ただちに止める」。再稼働の報が入ると、高浜原発前に集まった市民約80人の抗議の声が一段と大きくなった。夕方の再稼働に先立ってこの日は昼過ぎから付近でデモ行進があった。京都府宇治市から駆けつけた米沢鉄志さん(88)は「事故が起きれば、関西全域が被曝する恐れがあり、琵琶湖が汚染されれば水が飲めなくなる。子や孫のためにも廃炉を各戸から出席した約50人に話した。

特に異論は出ず採択された。区としてそうした文書を出すのは少なくとも福島事故後初めて。今のところ目立った反対意見は見聞かないという。「危険だ」という思い、軽視されているという不満があった。4号機が再稼働した17日、集落では赤色灯をつけたパトカーが巡回し、原発

「国民より政権付度」

「住民の命を考えているとは思えない」。反対の声を上げるため、JR彦根駅へ急ぎ向かった。「大阪高裁は国民の思いより、政権の意向を付度したようだ。せめぎ合いの中にあるが、近づく路肩には、警備の車両が連なっていて交通規制をしていた。近づくのは原発構内を出入りする大型トラックも半島の付け根を盛んに行き交う。「道は穴だらけで、住民の軽乗用車がパンクした。こんなことは音海にしかわからない」と60代男性はこぼす。「見返りが欲しいんじゃない。ただ安心安全であってほしい。でもそれが崩れた、福島で。帰れないんだよ、どうするの? ひどいことじゃない」(萩原千明)

原発から30km圏にかかると、滋賀県の三日月大知知事は「県民に原子力発電所に対する不安感が根強く残る現状では、再稼働を容認できる環境にない」とコメント。

京都府の山田啓二知事は「原発から30km圏内にある府と市町が再稼働同意のプロセスに位置づけられていないのは遺憾だ」と述べた。

裁判官の心を動かしたい」と話した。

脱原発弁護団全国連絡会事務局によると、原発の運転差し止めなどを求める訴訟や仮処分申し立ては全国で約35件ある。

### 経済効果歓迎

一方、高浜町商工会長でガソリンスタンド経営の田中康隆さん(61)は「安全対策の工事が続いたが、一時的な『特需』で先が見通せない不安があった」と地元の実感を語る。「さらに定期検査になれば3千人が町内に滞在し、小さな町の経済効果は大きい」と歓迎した。野瀬豊町長もこの日、「地元として安堵感を持っていて」と語った。ただ、原発構内では今年1月、大型クレーンが倒れる事故が発生している。福井県の西川一誠知事は「重要なのは安全運用に最大限の注意を払い、実績を重ねることで国民理解を得ていく」との談話を出した。